

令和3年度補正 UNOPS を通じた救急車2台の引渡式

令和5年2月2日、田中大使は、UNOPS が実施しているプロジェクトで調達した救急車2台をジンバブエ保健・育児省に引き渡しました。

今回の引渡は、我が国の資金支援により UNOPS が当国保健分野で実施している、マニカランド州の遠隔地コミュニティにおける基本的な救急医療サービスへのアクセスを改善することを目的としたプロジェクトの一環で行われたものです。この2台の救急車は、チピング郡のチコレ・ミッション病院及びムタサ郡ハウナ郡病院に贈呈されます。

2019年のサイクロン・イダイに伴う洪水や地滑りにより、遠隔地コミュニティへのアクセス道路が劣悪な状態であることが救急医療上の課題となっていました。これら救急車の贈呈により、患者の救急搬送が容易になります。

UNOPS ジンバブエ事務所のアミナス代表は引渡式で、日本政府とのパートナーシップに感謝の意を表しつつ、「UNOPS は、マニカランドにおける基本的な緊急医療サービスへのアクセスを強化するための日本のイニシアチブを促進できることを嬉しく思います。我々は引き続き、ジンバブエ政府による持続可能な開発目標の達成に向けた取り組みを支援する決意です。また、復興支援プロジェクトを担当した者として、サイクロン・イダイによる被害の大きさを知っているからこそ、この日本の支援が如何に重要であるかを理解しています。」と述べました。

2022年10月、我が国は、本プロジェクトで、ニャンガ郡病院にPCR機材を贈呈し、同郡と周辺地域の患者等の病気の診断と治療を改善してきました。

本プロジェクトは保健・育児省との協力の下で実施されており、同省はすでに職員に対してPCR機材の操作と保守に関する研修を行っています。また、今後、これら救急車の運転手と看護師が、救急車の操作等に関する研修を受ける予定となっています。

引渡式において、田中大使は、UNOPS と保健省が、この重要なプロジェクトを実施していることを高く評価しつつ、「救急車は、多くの緊急事態において極めて重要であり、その有無で生死を分けるかもしれません。このプロジェクトが、救急サービスを広範囲にカバーするとともに、誰一人取り残さないユニバーサル・ヘルス・カバレッジの実現という点で、保健省の取組を補完するものになることを期待しています。ジンバブエの医療がユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成し、将来の危機に耐えられる強固なものとなるよう支援することは、ジンバブエと日本の開発協力の柱の一つです。」と述べました。



救急車の鍵をマンガウィロ保健副大臣に手交



本使の挨拶



UNOPS 代表の挨拶



マンガウィロ保健副大臣による試運転



救命装備品を確認



贈呈される2台の救急車